



Title	長崎大学経済学部 学術・研究活動及び学外活動報告 平成21年度
Author(s)	長崎大学経済学部
Citation	長崎大学経済学部研究年報, 26, pp.187-206; 2010
Issue Date	2010-06-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/24473">http://hdl.handle.net/10069/24473</a>
Right	

This document is downloaded at: 2020-09-18T02:16:07Z

# 長崎大学経済学部

## 学術・研究活動及び学外活動報告

### 平成21年度

赤石 孝次

[学外活動]

<国際交流への貢献(各種イベント等での貢献)>

- ・ The Political Economy of Taxation in Japan and United States: A symposium on the occasion of the 60<sup>th</sup> anniversary of the 1949 Mission of Carl S. Shoup to Japan, Discussant to Monica Prasad and Satoshi Sekiguchi, December 12-14, 2009, Yokohama National University, Keio University

阿部 智和

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「オフィス空間の設計によるコミュニケーション・パターンへの影響に関する研究：現状と課題」『Informatomics』Vol.3, No.2, 2010, pp.21-30.

<科研費(採択のみ)>

- ・科学研究費補助金 若手研究(B)「作業空間のレイアウトと研究開発者のコミュニケーション・パターン, 生産性との関係」(単)平成20年度から2年間.

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・熊本県立第二高等学校において「経営戦略とは何か」を担当 2009年7月
- ・長崎県立諫早高等学校において「経済学部で学ぶこと」を担当 2009年7月

井田 洋子

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「政教分離の過去・現在・未来 - フランスにおけるライシテを巡る議論を手がかりに」(単)『名古屋大学法政論集』No.230, 2009年6月。

<判例研究>

- ・「霊璽簿からの氏名抹消等請求事件」(単)『速報判例解説』日本評論社, 2009年10月。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県入札監視委員会, 委員, 2008年4月~2011年3月。
- ・長崎県個人情報保護審査会, 委員, 2009年4月~2011年3月。
- ・長崎地方裁判所委員会, 委員, 2009年4月~2011年3月。
- ・長崎市住基ネット外部監視委員会, 委員長, 2009年2月~2011年1月。
- ・長崎市伝統的建造物群保存地区保存審議会, 委員, 2009年8月~2011年7月。
- ・長崎県弁護士会綱紀委員会, 外部委員, 2008年4月~2010年3月。

内田 滋

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ Benchmarking the State of Corporate Governance in Bangladesh , (共著) *Journal of Business and Economics*, Vol. 89 , No. 3 , pp. 155-168 , 平成21年12月
- ・ A Comparison of Reported and Disclosed Corporate Governance Compliance Status in the Banking Sector of Bangladesh , (共著) *Annual Review of Southeast Asian Studies*, The Research Institute of Southeast Asia, Nagasaki University, Vol. 51 , pp. 87-97 , 平成22年 3月

<学会発表>

- ・ 「地域金融機関と CSR 地域金融の諸相を考える」, (単独), 日本 NPO 学会, 平成22年 3月13日, 立命館大学

<科研費(採択のみ)>

- ・ 「金融機関の総合的な社会的責任に関する計量経済分析」, (単独), 平成18年度~21年度

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・ 『金融経済研究』, 編集専門委員, 平成21年度

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 日本経済学会, 理事, 平成20~22年度
- ・ 日本金融学会, 理事, 平成20~23年度
- ・ 生活経済学会, 副会長, 理事, 平成21年6月~23年 5月
- ・ 文化経済学会 日本九州部会, 運営委員, 平成21年度
- ・ 生活経済学会, 平成21年度全国大会(岡山商科大学), 「金融・保険」セッションの座長を担当, 平成21年 6月14日
- ・ 生活経済学会, 平成21年度九州部会(長崎大学教育学部), 実行委員を担当, 平成21年11月14日
- ・ The Fifth International Conference on Asian Financial Markets, ANA Hotel Nagasaki Gloverhill, Nagasaki University, 実行委員会委員, Graduate Student Session と Session , Capital Market の各座長, および Yiwen Fei (Shanghai Jiao Tong University), Rong Ding (University of Bradford), Xichi Xu (Shanghai Jiao Tong University), “Sovereign Wealth Funds as Block-Holders” の討論者を担当。
- ・ 日本 NPO 学会, 第12回年次大会(立命館大学) パネル・セッション「地域社会とソーシャル・ファイナンス 現状と課題」のモデレーターを担当。平成22年 3月13日

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・ 厚生労働省長崎労働局, 最低賃金審議会, 委員, 平成21年度
- ・ 長崎県, 政策評価委員会, 会長, 委員, 平成21年度

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・ 「金融機関と CSR (企業の社会的責任)」, 生活経済学会中・四国部会, 平成21年11月28日, 松山大学

<公開講座・市民講座>

- ・ 『長崎大学公開講座「社会科学のフロンティア」副題: 金融, 会計, 経営の最前線』において, 「Impact of Relationship Banking: Case Studies in East Asian Economies (リレーションシップ・バンキング: アジアにおける事例研究)」を担当。平成21年 6月 7日, 長崎市立図書館多目的ホール
- ・ 『長崎大学公開講座 現代経営: 世界同時不況下の経営課題 2009』において, 「金融危機と経済動向」を担当。平成21年 6月19日, 長崎大学経済学部

Celia L. Umali

[学術・研究活動]

< 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） >

- ・ IATSS Forum, Honda Foundation, Lecture: Poverty Issues, April 22, 2009
- ・ University of the Philippines, Seminar on Asian Business Management and the Global Crisis, Lecture: Globalization Strategies of Firms in Asia amid Global Crisis, May 27, 2009

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・ Editor, International Journal of Revenue Management (IJRM)
- ・ Regional Editor, International Journal of Business and Systems Research (IJBSR)

< 公開講座・市民講座 >

- ・ Nagasaki University Open School Series, Lecture: Digital Divide and its Economic Implications in Asia, June 2, 2009
- ・ Foreign Catholic Seminar 2009 in Fukuoka, Daimyomachi Catholic Church, Fukuoka City, November 23, 2009

海野 敦史

[学術・研究活動]

< 論文 >

- ・ 「郵便認証司による損害の賠償責任に係る法律の適用に関する考察」(単著), 『情報通信学会誌』27巻3号, 2009年12月。
- ・ 「憲法上の通信の秘密不可侵に対する制約原理 - 高度情報通信ネットワーク社会における『通信』の意義 - 」(単著), 『情報通信学会誌』27巻4号, 2010年3月。
- ・ 「アジア太平洋諸国の電気通信事業の効率性に関する研究」(共著), 『情報通信ジャーナル』27巻7号, 2009年7月。
- ・ 「インターネット利用者の情報セキュリティ意識に関する研究」(共著), 『情報通信ジャーナル』27巻8号, 2009年8月。
- ・ 「女性の就業促進のためのテレワーク利用に関する課題」(共著), 『早稲田大学大学院国際情報通信研究科 (GITI/GITS) 紀要2008-2009』, 2009年10月。
- ・ 「インターネットユーザの情報セキュリティ意識に関する分散分析」(共著), 『早稲田大学大学院国際情報通信研究科 (GITI/GITS) 紀要2008-2009』, 2009年10月。

< 研究ノート >

- ・ 「我が国の主な新興ネット企業の業況 (2002年度～2007年度)」(単著), 『情報通信ジャーナル』27巻4号, 2009年4月。
- ・ 「ITU-D 第7回電気通信/ICT指標に関する会合の結果の概要」(単著), 『ITUジャーナル』39巻4号, 2009年4月。
- ・ 「『インターネット利用の決定要因と利用実態に関する調査研究』の概要」(単著), 『情報通信ジャーナル』27巻5号, 2009年5月。
- ・ 「『情報流通インデックス』による我が国の情報流通量の計量」(単著), 『情報通信ジャーナル』27巻9号, 2009年9月。
- ・ 「米国における通信分野のアンバンドル・ルールの変容に関する考察」(単著), 『公益事業研究』61巻2号, 2009年11月。
- ・ 「『女性の就業とテレワークの可能性に関する調査研究』の概要と方向性」(共著), 『情報通信ジャーナル』27巻6号, 2009年6月。

## &lt;ディスカッション・ペーパー&gt;

- ・“ Efficiency Comparison of Telecommunications Industry among Asia-Pacific Region Countries ”( 共著 ), 『総務省情報通信政策研究所ディスカッション・ペーパー (平成21年度)』, 2009年5月。
- ・「女性の就業とテレワークの可能性に関する調査研究 - 東京都在住女性アンケートと企業10社のインタビューから - 」( 共著 ), 『総務省情報通信政策研究所ディスカッション・ペーパー (平成21年度)』, 2009年5月。

## &lt;学会発表&gt;

- ・「米国におけるアンバンドル・ルールの変遷と通信市場へのインパクトの分析」( 単独 ), 公益事業学会第59回2009年度全国大会, 2009年6月14日, 京都大学。
- ・「米国におけるアンバンドル規制緩和の市場へのインパクト分析 - ネットワークの高度化と技術間競争の観点から - 」( 単独 ), 情報通信学会第26回学会大会, 2009年6月28日, 桜美林大学。
- ・“ A Quantitative Study on Information Security Awareness of Japanese Internet Users and Policy Study ” ( 共同 ), 第7回ソシオネットワーク戦略研究国際会議, 2009年10月25日, 関西大学。
- ・「インターネットユーザの情報セキュリティ対策に関する定量的研究」( 共同 ), 日本情報経営学会第59回全国大会 ( 学会創立30周年記念大会 ), 2009年11月22日, 名古屋大学。
- ・“ A Quantitative Study on Japanese Internet Users' Awareness to Information Security: Necessity and Importance of Education and Policy ”, World Academy of Science, Engineering and Technology 60, December 25 2009, First Hotel Bangkok (Thailand) .

## [学外活動]

## &lt;学会などにおける委員としての活動&gt;

- ・総務省情報通信政策研究所特別研究員, 2009年8月～現在。

## &lt;報告書(国, 県, 市町村, 企業等からの依頼による)&gt;

- ・『米国FCCの接続ルールの変遷とそのインパクトに関する調査研究』, 総務省情報通信政策研究所, 2009年8月。

## &lt;公開講座・市民講座&gt;

- ・『平成21年度大学出張講座』, 「経済学入門」, 2009年10月10日, 熊本県立阿蘇高等学校。
- ・『長崎県高大連携事業 (出張講義)』, 「ミクロ経済学の世界への入口」, 2009年11月9日, 長崎県立佐世保南高等学校。

## 大内 和直

## [学外活動]

## &lt;国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員&gt;

- ・長崎市個人情報保護・情報公開審査委員会 ( 委員 2009年4月～2011年3月 )
- ・長崎県弁護士会 網紀委員 ( 予備委員 2009年4月～2010年3月 )

## &lt;公開講座・市民講座&gt;

- ・『現代経営；世界同時不況下の経営課題』, 「危機回避と消費者保護」2009年6月5日, 長崎大学経済学部カンファレンスルーム

## 大倉 真人

## [学術・研究活動]

## &lt;論文&gt;

- ・“ An Economic Analysis of Risk Management in the Airline Industry, ” *Economics Bulletin*, Vol 29 No. 2, pp.576-584, April 2009.
- ・“ Why Did the Japanese Non-life Insurers form Stock Companies? ” *Annali della Facolta di Economia*, Vol. 63, pp.155-167, May 2009.
- ・“ Coopetitive Strategies to Limit the Insurance Fraud Problem in Japan, ” In G. B. Dagnino and E. Rocco

(Eds.), *Coopetition Strategy: Theory, Experiments and Cases*, London: Routledge, pp.240-257, July 2009.

・“ An Economic Analysis of Failure Experience, ” *Icfai University Journal of Risk and Insurance*, Vol.6, No.3&4, pp.22-28, October 2009.

<ワーキング・ペーパー>

・“ Insurer’s Accountability of Variable Insurance Product, ” Discussion Paper 2009-1, Faculty of Economics, Nagasaki University, May 2009.

・“ Insurance as Credence Goods: On the Allocation of the Burden of Proof, ” Discussion Paper 2009-2, Faculty of Economics, Nagasaki University, May 2009 (jointly with Yunho Lee).

・“ An Economic Analysis of Risk Management and Insurer’s Monitoring, ” Discussion Paper 2009-16, Faculty of Economics, Nagasaki University, December 2009 (jointly with Yoshihiro Asai).

・“ An Economic Analysis of Coopetitive Strategies in the Game Software Market, ” Discussion Paper 2010-1, Faculty of Economics, Nagasaki University, January 2010 (jointly with Kenichi Ohkita).

・“ Does Consolidation of Firms Accelerate in Saturated Insurance Markets?: Theory and Evidence from Japan’s Nonlife Insurance Market, ” Discussion Paper 2010-2, Faculty of Economics, Nagasaki University, January 2010 (jointly with Noriyoshi Yanase).

・“ The Vertical Differentiation Model in the Insurance Market, ” Discussion Paper 2010-3, Faculty of Economics, Nagasaki University, January 2010.

<科研費（採択のみ）>

・「保険市場における「競争」と「協調」に関する経済分析」(若手研究B)(研究期間2009年度～2011年度)(単独)

<学会発表>

・“ An Insurer’s Accountability for Variable Insurance Product, ” The 13th Annual Asia-Pacific Risk and Insurance Association (APRIA), Beijing Friendship Hotel (China) July 2009.

・「リスク移転および集積システムとしての保険 - 経済学的アプローチ - 」『日本保険学会全国大会』, 龍谷大学, 2009年10月。

・「保険会社における「商品説明投資」に関する経済分析 - 垂直的差別化市場モデルを用いた分析 - 」『損害保険研究会』損保会館, 2009年12月。

・“ An Economic Analysis of Risk Management and Insurer’s Monitoring, ” 『一橋大学金融研究会/保険ワークショップ(共催)』, 一橋大学, 2010年2月(浅井義裕氏との共同発表)

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

・日本保険学会評議員(2008年10月～)

・日本保険学会ホームページ委員会委員(2009年3月～)

・日本保険学会賞新設検討委員会委員(2009年8月～)

・2010 World Risk and Insurance Economics Congress (WRIEC) Scientific Committee Member (2010年2月～)

<公開講座・市民講座>

・高大連携事業出前講義「経済学(部)において学ぶこと」2010年3月17日, 長崎県立対馬高等学校。

岡田 裕正

[学術・研究活動]

<論文>

・“ Management Reform in Nagasaki Prefectural Hospitals in terms of Published Financial Data ”, (jointly with Takahito Kondo), 第6回韓国非営利経営學會予稿集, pp.95-108, 2009.6

・「日本の會計制度の概要」(金確烈(交信著者)), *Korea International Accounting Review*, Vol.27, pp.

339-356, 2009.9

- ・「包括利益と純利益の並存 - ASBJ討議資料との関連で - 」(単著), 会計理論学会年報, 第23号, 査読有, pp.2-11, 2009.10
- ・“ Present Value and Historical Cost Accounting: Toward the Global Convergence and Reconciliation Process in Japan ” (jointly with Noriyuki Tsunogaya, Hiroshi Yoshimi), Proceedings of the 10<sup>th</sup> Asian Academic Accounting Association, pp.2319-2357, 査読有, 2009.11
- ・“ Implementation Process of Management Control Systems in the Municipally Owned Hospitals: In the case of Nagasaki Prefectural Hospitals in Japan ”, (jointly with Takahito Kondo), International Journal of Computational Science and Engineering, Vol.5, No.1, 査読有, pp.21-34, 2010.1.

< 研究ノート >

- ・「日本の企業会計制度及其国際化进程」(上)『新會計』, 第1期, 総第13期, pp.2-5, 2010年1月, (下)『新會計』, 第2期, 総第14期, pp.6-8, 2010年2月, (谢少敏(上海财经大学会计学院), 邱义红(福建龙岩市闽西职业技术学院))

< 学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等) >

- ・“ Accounting System in Japan ”, 釜慶大学校, 2009.6.12, 釜慶大学校経営大学経営学部。

< 学会発表 >

- ・“ Management Reform in Nagasaki Prefectural Hospitals in terms of Published Financial Data ”, (jointly with Takahito Kondo), 第6回韓国非営利経営學會, 2009.6.13, 東西大学校(釜山, 韓国)
- ・“ Present Value and Historical Cost Accounting: Toward the Global Convergence and Reconciliation Process in Japan ” (jointly with Noriyuki Tsunogaya, Hiroshi Yoshimi), the 10<sup>th</sup> Asian Academic Accounting Association, 2009.11.15-18, Kadir Has University (Istanbul, Turkey)
- ・“ Comment for Mi-Young Park’s paper “ the Effect of Audit Fee on the Cost of Capital ” ”, the 4<sup>th</sup> Conference of Culture and Accounting, 2010.2.26, Jeju National University, (Jeju Island, Korea)

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

- ・“ Malaysian Accounting Review ”, Editorial Team, 2007.10~

< 学会などにおける委員としての活動 >

- ・日本会計研究学会九州部会, 長崎大学幹事, 2000.4~

< 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >

- ・財務行政モニター, 2008年4月~2010年3月

< 国際交流への貢献(各種イベント等での貢献) >

- ・The 5<sup>th</sup> International Conference on Asian Financial Markets, 事務局, 2009年12月12日~13日, 全日空ホテルグラバーヒル

< 公開講座・市民講座 >

- ・『社会科学のフロンティア - 金融, 会計, 経営の世界最前線 - 』, “ Management Reform of Municipally-owned Hospitals: In the case of Nagasaki prefectural hospitals in Japan ” (地方自治体立病院の経営改革の現状と課題: 長崎県立病院のケースを中心として), 2009年6月7日(日), 長崎市立図書館多目的ホール

岡本 芳太郎

[学外活動]

< 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >

- ・長崎県情報公開審査会 会長 平成21年1月20日から平成23年1月19日
- ・長崎県個人情報保護審査会 委員 平成21年10月31日から平成23年10月30日

< 講演会(社会的要請に基づく) >

- ・「技術移転とライセンス」, 社団法人発明協会アジア太平洋工業所有権センター『特許庁知的財産権

研修(中国実務者コース)』, 2009年8月7日, 弁理士会館

- ・「学校現場において注意すべき著作権について」, 長崎県高等学校進学指導研究協議会, 2009年7月9日, 雲仙九州ホテル

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎大学公開講座: 世界同時不況下の経営課題』, 「国際取引紛争の処理」, 2009年6月26日, 長崎大学経済学部
- ・「長崎大学経済学部の概要と講義内容の一部の紹介」2009年6月16日, 猶興館高校
- ・『平成21年度 長崎大学知的財産セミナー』「著作権と商標」2009年11月5日, 長崎大学総合教育研究棟

小野 哲

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「システムの進化が CEO のあり方に及ぼす影響」, 『経理研究』53号, 平成22年2月

<研究ノート>

- ・「経営者は IFRS にいかに対処すべきか」, 『経営と経済』第89巻 第4号, 平成22年3月

角田 享介

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『長崎市公開講座: 茶の間の経済学』, 「税制について考えてみよう」, 2009年10月24日, 長崎市北公民館

Geoffrey C. Gunn

[学術・研究活動]

Translation

- ・澳門史, 1557-1999 (Aomen shi, 1557-1999), 中央编译出版社 (Zhong yang bian yi chu ban she), Beijing, 2009.

Article

- ・“Timor-Leste in 2009: Cup Half Full or Half Empty?” *Asian Survey*, Vol.50, No.1, January/February 2010, pp.235-240.

Encyclopedia Entries

- ・“East Timor (Timor-Leste)” in D. J. Sagar (ed.), *Political Parties of the World*, 7<sup>th</sup> edition, John Harper Publishing, London, 2009, pp.175-177.
- ・“East Timor” in Daniel Lynn (ed.), *The Far East and Australasia*, 2009, Routledge, London, 2009, pp.1258-69.
- ・Macao Special Administrative Region (pp.1363-1365); Hong Kong Special Administrative Region (pp.1049-1051); Five Principles of Peaceful Co-existence (pp.834-856); *Encyclopedia of China*, Berkshire Publishing/Scribners, San Francisco, 2009.

Book Reviews

- ・Review of *The Korean Development State: From Dirigisme to Neoliberalism* by Iain Pirie; *Comparing Political Corruption and Clientalism* by Juichi Kawata (ed.), *Journal of Contemporary Asia*, 39, no.1, 2009, pp.150-154.

[学外活動]

Editor/Referee

- ・*Journal of Contemporary Asia*, Manila/Routledge, London.
- ・*Legal History* (Macquarie University)
- ・*Asia-Pacific Review: Japan Focus (electronic)*



## 菅家 正瑞

## [学術・研究活動]

## &lt; 著書 &gt;

・『企業メセナの理論と実践』(監修, 編共著), 水曜社, 平成22年3月。

## &lt; 論文 &gt;

・「企業フィランソロピーと企業メセナ」(単著), 『経営と経済』第89巻第4号 長崎大学経済学会 平成22年3月。

・「企業メセナの将来」(単著), 『経営と経済』第89巻第3号 長崎大学経済学会 平成21年12月。

・「企業はなぜメセナをするのか」(単著), 『経営と経済』第89巻第2号 長崎大学経済学会 平成21年9月。

・「企業はなぜ芸術を求めるのか」(単著), 『経営と経済』第89巻第1号 長崎大学経済学会 平成21年6月。

## &lt; 資料 &gt;

・「実験的メセナの実施報告 その4 および全体的総括」(単著), 『経営と経済』第89巻第4号 長崎大学経済学会 平成22年3月。

## [学外活動]

## &lt; 学会などにおける委員としての活動 &gt;

・九州経済学会 理事, 平成22年3月まで。

## &lt; 学術研究交流(学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む) &gt;

・「長崎大学経済学部企業メセナ研究会」, 経済学部での研究報告・民間企業のメセナ実践報告, 熊本大学, 熊本保健科学大学, トヨタ自動車, 野村證券, サントリー, 出光興産, アサヒビール, 九州電力, KAJIMOTO, 三菱 UFJ リサーチ & コンサルテング, 日本経済新聞社, 平成18年5月~平成22年3月。

## &lt; 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 &gt;

・長崎県職業能力開発審議会委員(2001.11~現在に至る)。

・長崎市政治倫理審議会委員(2008.4~現在に至る)。

・長崎保護司選考会委員(2006.8.1~現在に至る)。

## &lt; 公開講座・市民講座 &gt;

・『実験的企業メセナ』の実施, 「大好きな長崎へ音楽のプレゼント - 大室晃子ドイツ三大Bを弾く」, 平成21年10月27日; 長崎大学付属病院, 10月28日; 伊王島, 高島小中学校, 10月29日; 長崎県美術館, 10月30日; 長崎県盲学校, 旧香港上海銀行長崎支店跡記念館, 12月19日; ブリック・ホール。

## 工藤 健

## [学術・研究活動]

## &lt; 科研費(採択のみ) &gt;

・「国際収支不均衡と金融・財政政策: 最適政策ルールに基づく理論・実証分析」(単), 2008年4月 - 2010年3月。

## &lt; 学術賞の受賞 &gt;

・2009年度学術研究助成(研究助成)(単), 「不完全な国際資本移動の下での超低金利政策: 最適金融政策ルールの視点から」, (財)全国銀行学術研究振興財団, 2010年2月1日。

## &lt; 学会発表 &gt;

・“Fiscal Discipline and Sustainability of Public Debt: An Empirical Analysis using Japanese Long-term Economic Statistics”, (単) 『Proceedings of Annual American Business Research Conference (<http://www.wbiconpro.com/>)』, September 28-29th, Sheraton LaGuardia East Hotel, New York, The United States.

## [学外活動]

## &lt; 公開講座・市民講座 &gt;

・『長崎市北公民館春の講座「茶の間の経済学」』, 「米国発の金融危機と世界経済への影響」, 2009年5月23日, 長崎市北公民館。

・『社会科学のフロンティア - 金融, 会計, 経営の世界最前線 - 』, “Optimal Monetary Policy under Im-

perfect Capital Mobility: Asymmetric Shock and Duration of Zero Interest Rate Policies.” 2009年6月6日，長崎市立図書館。

近藤 隆史

[学術・研究活動]

<論文>

- ・“ Management Reform in Nagasaki Prefectural Hospitals in terms of Published Financial Data ”, (jointly with Hiromasa Okada), 第6回韓国非営利経営學會予稿集, pp.95-108, 2009.6
- ・「わが国管理会計の書誌学的研究」(共), 『産業経理』69巻3号, 70-81頁, 2009年。
- ・“ Implementation Process of Management Control Systems in the Municipally Owned Hospitals: In the case of Nagasaki Prefectural Hospitals in Japan ”, (jointly with Hiromasa Okada), International Journal of Computational Science and Engineering, Vol.5, No.1, 査読有, pp.21-34, 2010.1.

<科研費(採択のみ)>

- ・「医療機関における管理会計機能に関する理論的・実証的研究」(単), 科学研究費補助金(若手研究(B)), H21年度からH23年度。

<学会発表>

- ・「Changes in the Design and Use of Performance Measurement Systems, Opportunistic Behavior and Organizational Performance: A Survey Study」(共), European Network for Research in Organisational & Accounting Change 7th Annual Conference, 24th June, 2009, West Park Conference Centre, Dundee (UK)
- ・「自治体立病院の企業団移行に関する管理会計的考察」(単), 第29回日本管理会計学会九州部会(アジア太平洋管理会計学会との共同開催), 2009.10.31, 別府大学。

[学外活動]

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・「バランス・スコアカード検討プロジェクトチーム(長崎市)」, 顧問, 平成21年10月20日～平成22年3月31日。

柴多 一雄

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「大学図書館における学生のニーズを反映させた学習支援環境の構築：平成16年度から平成20年度に長崎大学附属図書館が実施した学生懇談会の過程と成果」(共著), 『大学図書館研究』No.86, 平成21年8月。
  - ・「貝原益軒諫言録と近世前期の福岡藩政 家臣の困窮と藩財政の窮乏を中心に」, 『市史研究ふくおか』第5号, 平成22年3月。
- <辞書および総説(学外の新聞, 雑誌, 学内報における解説, レポート, エッセイ等)>
- ・「幕末・明治を知る西洋の男たち」～, 『CHOHO』27～30, 平成21年4月～平成22年1月。
  - ・「書評：本馬貞夫『貿易都市長崎の研究』」, 『長崎新聞』, 平成21年4月19日。
  - ・「長崎遠めがね」1～10, 『長崎新聞』, 平成22年1月19日～3月28日(毎週日曜日)。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・社会経済史学会評議員 平成21年4月～平成23年3月。

<国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市史専門委員 平成21年6月24日～平成22年6月23日。
- ・福岡市文化財保護審議会委員 平成20年5月24日～平成22年5月23日。
- ・福岡市史編さん委員会編集委員 平成21年5月18日～平成23年3月31日。

## &lt; 公開講座・市民講座 &gt;

- ・『中央公民館春の講座』, 「写真に見る長崎」, 平成21年5月26日, 長崎大学附属図書館。

## 島田 章

## [学術・研究活動]

## &lt; ワーキング・ペーパー &gt;

- ・“ The Transfer of the Remittance Fee from the Migrant to the Household ” (単著), DISCUSSION PAPER SERIES (Faculty of Economics, Nagasaki University) No.2009-11, 平成21年7月.
- ・“ The Transfer of the Remittance Fee from the Migrant to the Household ” (単著), DISCUSSION PAPER SERIES (Faculty of Economics, Nagasaki University) No.2010-04 (No.2009-11の改訂版), 平成22年2月.

## &lt; 学会発表 &gt;

- ・“ Strategic Remittances, Asymmetric Information, and Efficiency Wages ” (単独), The 8th Annual Meeting of the *European Economics and Finance Society*, 平成21年6月6日, Faculty of Economic Science, University of Warsaw, Warsaw, Poland.
- ・“ The Transfer of the Remittance Fee from the Migrant to the Household ” (単独), The 8th International Conference of the *Japan Economic Policy Association*, 平成21年11月29日, Center for National University Finance and Management, Tokyo, Japan.
- ・“ The Transfer of the Remittance Fee from the Migrant to the Household ” (単独), The All China Economics (ACE) International Conference, The Third Conference, 平成21年12月16日, City University of Hong Kong, Hong Kong.

## 杉原 敏夫

## [学術・研究活動]

## &lt; 論文 &gt;

- ・「イノベーション・サポートとしての情報システムの方向性 - ダイナミックケイパビリティと経営情報システム」(共著), 『経営と経済』, Vol.89, No.2, pp.95-114

## [学外活動]

## &lt; 学術雑誌の編集員としての活動 &gt;

- ・『International Journal of Management and Decision Making』, Editorial Board, 2006~
- < 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >
- ・長崎市文化観光部指定管理者選考委員会, 委員長, 平成21年6月から10月
- ・長崎市総合計画検討市民会議, 議長, 平成21年6月から平成22年3月
- ・長崎県公益認定等審議会, 委員長, 平成20年5月から平成23年5月
- ・全国健康保険協会長崎支部評議会, 評議員, 平成20年11月から平成22年10月

## 須齋 正幸

## [学術・研究活動]

## &lt; 論文 &gt;

- ・“ Volume or Order Flow? Which contains more information in really traded Yen/Dollar Foreign Exchange Market with new Data Set ”, (単), *Proceedings of the 32<sup>nd</sup> European Accounting Association Annual Congress*, May, 2009
- ・“ Multi Foreign Exchange Rate Relations in Turbulent Market: Lessons from Lehman Shock ”, (単), *Proceedings of the 21<sup>st</sup> ASIAN-PACIFIC CONFERENCE ON INTERNATIONAL ACCOUNTING ISSUES*, Nov. , 2009

## &lt; 科研費（採択のみ） &gt;

- ・科学研究費補助金（基盤研究B）AHPによる外為市場のセンチメントの測定と為替ディーラーの投資行動バイアスの研究（複），2006年度から2009年度

## &lt; 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） &gt;

- ・「Japanese Economy after Lehman's Shock」，西南財経大学金融学院，2009年10月，西南財経大学金融学院（中国・成都）。

## &lt; 学会発表 &gt;

- ・“Volume or Order Flow? Which contains more information in really traded Yen/Dollar Foreign Exchange Market with new Data Set”，(単)，32<sup>nd</sup> European Accounting Association Annual Congress, May, 2009
- ・“Multi Foreign Exchange Rate Relations in Turbulent Market: Lessons from Lehman Shock”，(単)，21<sup>st</sup> ASIAN-PACIFIC CONFERENCE ON INTERNATIONAL ACCOUNTING ISSUES, Nov., 2009
- ・“Multi Foreign Exchange Rate Relations in Turbulent Market: Lessons from Lehman Shock”，(単)，5<sup>th</sup> International Conference on Asian Financial Markets, Dec., 2009

## [学外活動]

## &lt; 学術雑誌の編集員としての活動 &gt;

- ・『生活経済学研究』，編集委員，2008年度～2009年度。

## &lt; 学会などにおける委員としての活動 &gt;

- ・生活経済学会，ホームページ委員会，委員，2008年度～2009年度。

## &lt; 国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員 &gt;

- ・長崎市行政改革審議会，会長，2008年度～2009年度。
- ・長崎市外郭団体検討委員会，委員，2009年度～2010年度。
- ・国立大学協会事業実施小委員会，専門委員，2008年度～2009年度。
- ・財団法人長崎ミュージアム財団，評議員，2008年度～2009年度。

## 辞 軍

## [学術・研究活動]

## &lt; 著書 &gt;

- ・「第2章第1節 中国の証券市場」，「第8章 中国人民元の国際化」，川村雄介監修・著，(財)日本証券経済研究所編『アジア証券市場とグローバル金融危機』，(社団法人)金融財政事情研究会，2010.2
- ・「第1編 中国の証券市場 第1～5章」，川村雄介監修・著『図説 アジアの証券市場』，(財)日本証券経済研究所，2010.3

## &lt; 辞書および総説（学外の新聞，雑誌，学内報における解説，レポート，エッセイ等） &gt;

- ・「投機マネーはどこまで許されるべきか」，PHP 総合研究所Global e-Forum 6月，  
<http://www.globaleforum.com/expert.jsp?mId=3&yId=18>，  
<http://www.globaleforum.com/en/expert.jsp?mId=3&yId=17>，2009年6月9日

## &lt; 学術研究講演（大学，学会，研究機関等） &gt;

- ・「モンゴル経済現状と金融危機」，日本証券経済研究所アジア資本市場研究会，2009年4月28日
- ・「米国発金融危機の中国自動車産業への影響と今後の諸問題」（報告者は中村研二・元いすゞ自動車北京事務所長）についてのコメント，「世界同時不況への戦略的対応と多国籍マネージメント」シンポジウム，関東学院大学関内メディアセンター，2009年6月27日

## [学外活動]

## &lt; 公開講座・市民講座 &gt;

- ・「中国経済の実態・問題点及び展望」，長崎市北公民館，2009年10月10日

高倉 泰夫

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「世界的金融恐慌と物象化の進展」(単)『経営と経済』(長崎大学)第89巻第4号(No.271), 2010年, March。

津留崎 和義

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本OR学会2009年秋季研究発表会実行委員。
- <国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎市営住宅審議会委員。

仲井 幹也

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・『西日本ドイツ文学』, 編集委員, 平成21年1月1日~平成22年12月31日

中山 厚穂

[学術・研究活動]

<著書>

- ・『Excelソルバー多変量解析 因果関係分析・予測手法編』(単著), 日科技連出版社, 2009年4月。
- ・『Excelソルバー多変量解析 ポジショニング編』(単著), 日科技連出版社, 2010年1月。

<論文>

- ・“Analysis of Purchase Intentions at a Department Store by Three-way Distance Model”(単著), Cooperation in Classification and Data Analysis, Springer, 2009年6月。
- ・「2相3元データ分析に際してのINDSCAL, INDCLUS, 及び PREFMAP 解併用の有効性 ケース研究」(共著), 行動計量学, 日本行動計量学会, 2010年3月。
- ・“An Application of One-mode Three-way Overlapping Cluster Analysis”(単著), Proceedings of the 11th conference of International Federation of Classification Societies 2009 Conference, 印刷中。

<科研費(採択のみ)>

- ・「多次元尺度構成法による単相多元データ分析のための方法論の構築」, 科学研究費補助金若手研究B(研究代表者), 2008年度~2010年度
- ・「関連性データ解析に関する数理的研究」, 科学研究費補助金基盤研究C(連携研究者), 2009年度から2012年度

<学会発表>

- ・「CGMサイトにおける口コミが消費者行動に与える影響」(共著), マーケティング・サイエンス学会第85回研究大会, 2009年6月21日, 京都工芸繊維大学。
- ・「消費者の情報検索行動の解明」, 日本行動計量学会第37回大会(単著), 2009年8月5日, 大分大学医学部。
- ・「食卓登場メニューにおける非対称性の分析」(共著), 日本行動計量学会第37回大会, 2009年8月6日, 大分大学医学部。

[学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本行動計量学会 広報委員会 委員, 2009年度~2011年度
- ・日本分類学会 幹事会 幹事, 2009年度~2010年度

- ・統計関連連合大会 運営委員会 委員, 2009年度～2011年度
- ・統計関連連合大会 Web委員会 委員, 2009年度
- ・日本オペレーションズ・リサーチ学会, 平成21年度秋季研究発表会実行委員会委員

Dipak R. Basu

[学術・研究活動]

Books

- ・ *Advances in Development Economics*, World Scientific, London, 2008
- ・ *Economic Models: Methods, Theory and Applications*, World Scientific, London, 2009

Papers

- ・ Inflation in India: Analysis and Causes, *Keiei To Keizai* (Journal of Business and Economics), vol.88, no.2, September, 2008
- ・ Causes and the Solutions of the World Financial Crisis, *Keiei To Keizai* (Journal of Business and Economics), vol.89, no.1, June, 2009
- ・ Western Criticism: Look at the East, *Deccan Herald*, 26 May, 2008
- ・ Nepal treaty and Gorkha problem, *The Pioneer*, 19 June, 2008
- ・ Indo-US nuclear pact: Whats behind the deal?, *Deccan Herald*, 17 June, 2008
- ・ Balloning Inflation, *The Statesman*, 3 and 4 July, 2008
- ・ The Nuclear Drama, *The Statesman*, 20 August, 2008
- ・ WTO & free trade: The Unreal World of Anglo-American Economics, *The Statesman*, 28 & 29 August, 2008
- ・ Inflation and liquidity management: The wrong remedy, *Deccan Herald*, 3 Oct, 2008
- ・ East and the West, *The Statesman*, 3 November, 2008
- ・ Separatist demands: Nepalese expansion, *Deccan Herald*, 20 Oct, 2008
- ・ Global financial crisis : Sham solutions won't do, *Deccan Herald*, 13 December, 2008
- ・ Status of J&K: Terrorism Is Not The Singular Issue, *The Statesman*, 13 February, 2009
- ・ World economic crisis: Need for major overhaul, *Deccan Herald*, 26 February, 2008
- ・ Marx and Clio, *The Statesman*, 29 and 30 March, 2009
- ・ Coping with crisis --- Depend on Banks, Not The Stock Market, *The Statesman*, 4 March, 2009
- ・ Iran in ferment, *The Statesman*, 1 August, 2009
- ・ India's Nuclear Dilemma, *Deccan Herald*, 17 July, 2009
- ・ Tibet is a victim of Sino-Indian border negotiations, *Deccan Herald*, 16 August, 2009
- ・ New Era in Japan, *The Statesman*, 29 September, 2009
- ・ Why not try a trade system that optimizes each nation's interest?, *Japan Times*, 29 September, 2009
- ・ Road from Doha: The Necessity of a Balanced Trade Regime, *The Statesman*, 23 October, 2009
- ・ The world economic recession -volatile situation, *Deccan Herald*, 12 November, 2009
- ・ Crime against humanity, *The Statesman*, 1 December, 2009

林 徹

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「戦略の3要件と活動理論」(単), 長崎大学経済学会『経営と経済』, 第89巻第2号(第269号), 2009年9月, 33-56頁。
- ・「鈴木商店の戦略と組織」(単), 岸田民樹編著『組織論から組織学へ: 経営組織論の新展開』, 文眞堂, 2009年10月, 135-148頁, 第9章。
- ・「組織研究と時間」(単), 長崎大学経済学会『経営と経済』, 第89巻第3号(第270号), 2009年12月, 75

-96頁。

<学会発表>

・『組織の境界と重心』(単), 組織学会九州支部例会, 2009年12月26日, 九州大学経済学部。

[学外活動]

<公開講座・市民講座>

- ・『公開講座』「現代経営：世界同時不況下の経営課題」, 「自己達成予言としての経営戦略」, 2009年5月15日, 長崎大学経済学部。
- ・『高大連携授業』, 「経済学・経営学・商学の異同」, 2009年6月12日, 長崎県立大崎高等学校。
- ・『高大連携授業』, 「経済学・経営学・商学の異同」, 2009年6月19日, 長崎県立大村高等学校。
- ・『高大連携授業』, 「経済学・経営学・商学の異同」, 2009年7月3日, 長崎県立島原高等学校。
- ・『教員免許更新講習』, 教科指導, 生徒指導その他教育の充実に関する事項(選択), 「現代経営・会計概論」, 「リーダーシップ再考」, 2009年8月10日, 長崎大学経済学部。
- ・『出前講座』, 「経済学, 経営学, 商学の異同」, 2009年11月9日, 福岡県立八女高等学校。

林川 美由樹

[学術・研究活動]

<ワーキング・ペーパー>

- ・「会計学研究のための社会的アプローチについての考察 グラウンディッドセオリーの会計学への適用へ向けて」(単) 長崎大学経済学部 Discussion Paper Series No.2009-03, 2009年5月。
- ・「投資意思決定現場における質的情報の活用実態 定量情報と定性情報を織り込んだ意思決定のケーススタディ」(単) 長崎大学経済学部 Discussion Paper Series No.2009-04, 2009年5月。
- ・「機関投資家のモニタリング動機の阻害要因 二重のエイジェンシー関係がある意思決定現場のケーススタディ」(単) 長崎大学経済学部 Discussion Paper Series No.2009-05, 2009年5月。
- ・「学際的会計研究の発展可能性 国際会計コンバージェンスの多角的視野による研究へ向けて」(単) 長崎大学経済学部 Discussion Paper Series No.2009-06, 2009年6月。
- ・「国際会計基準コンバージェンスと情報開示目的の変遷 投資意思決定支援機能拡大の畀」(単) 長崎大学経済学部 Discussion Paper Series No.2009-08, 2009年6月。
- ・「意思決定結果を肯定するための定量的財務分析 機関投資家によるディフェンス行動のケーススタディ」(単) 長崎大学経済学部 Discussion Paper Series No.2009-10, 2009年6月。

<学会発表>

・「機関投資家による企業モニタリングの可能性」(単) 日本応用経済学会, 2009年11月22日, 神戸大学。

深浦 厚之

[学術・研究活動]

<論文>

- ・「流動化概念と債権流動化(4) 債権流動化が貨幣供給量に与える効果について」(単), 『経営と経済』(長崎大学) 第89巻第1号, 2009年6月
- ・「住宅ローンの利用による住宅取得行動の分析」(単), 『住宅・金融フォーラム』(住宅金融普及協会) 第8号, 2009年6月
- ・「流動化概念と債権流動化(5) 交換経済における流動性と信用」(単), 『経営と経済』(長崎大学) 第89巻第3号, 2009年12月

<科研費(採択のみ)>

・「長寿命住宅循環利用のための住宅金融制度構築に関する研究」(単), 平成21年度~平成23年度

<学会発表>

・「Scheme of Housing Finance in Japan - A Historical Review」(単), Forum of Mortgage & Securities, 2009年10月9日, Herriot-Watt University, Scotland

## [学外活動]

## &lt;学会などにおける委員としての活動&gt;

- ・九州経済学会，理事（平成21年10月～）
- <国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎市雇用問題審議会・会長（平成20年2月～）
- ・長崎地域雇用創造協議会委員（平成21年2月～）
- ・長崎地方最低賃金審議会公益委員（平成21年4月～）
- ・長崎労働局地域共同就職支援事業企画審査委員（平成21年3月～）
- ・株式会社テレビ長崎番組審議委員（平成21年4月～）

## 福澤 勝彦

## [学術・研究活動]

## &lt;科研費（採択のみ）&gt;

- ・藤田渉代表：基盤研究(C)「広域行政圏化による労働再配分ショック増幅効果とミクロ経済的構造分析」平成21年～
- ・外部の競争的資金：JFE21世紀財団2009年度アジア歴史研究大学助成（代表 福澤勝彦）「中国を中心としたアジア貿易の変化が中国及び日本を含む周辺国の雇用に与える影響」平成21年1月～22年12月

## &lt;学会発表&gt;

- ・福澤勝彦・藤田渉『中国の貿易政策と現状』九州経済学会，平成21年(2009年)12月5日，九州国際大学

## [学外活動]

## &lt;学会などにおける委員としての活動&gt;

- ・OR学会秋季大会実行委員会委員，平成21年9月9日，10日開催
- <国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎地方労働審議会，会長，平成21年11月1日～23年10月31日，会長代理（任期19年11月1日～21年10月31日）
- ・長崎保護司選考会委員，平成22年1月13日～平成23年10月31日
- ・長崎県労働委員会，会長代理，平成21年11月1日～23年10月31日，会長代理（任期19年11月1日～21年10月31日）

## 藤田 渉

## [学術・研究活動]

## &lt;論文&gt;

- ・「東アジアの垂直分業構造と国・地域グループの特性」(単)，『東南アジア研究年報』第51集，平成22年3月。

## &lt;科研費（採択のみ）&gt;

- ・「広域行政圏化による労働再配分ショック増幅効果とミクロ経済的構造分析」(共)，平成21年度。

## &lt;学会発表&gt;

- ・「東アジアの垂直分業構造と国・地域グループの特性」(単)，環太平洋産業連関分析学会第20回大会，平成21年10月31日，函館大学。
- ・「中国の貿易政策と現状」(共)，九州経済学会第59回大会，平成21年12月5日，九州国際大学。

## [学外活動]

## &lt;学会などにおける委員としての活動&gt;

- ・環太平洋産業連関分析学会，プログラム委員会，委員，平成21年4月～10月。
- <国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>
- ・長崎市建築審査会，会長，平成21年6月～平成23年5月。



## &lt; 公開講座・市民講座 &gt;

- ・『長崎市北公民館秋の講座「茶の間の経済学」』, 「経済学と環境問題」, 平成21年10月3日, 長崎市北公民館。

藤野 哲也

## [ 学術・研究活動 ]

## &lt; 論文 &gt;

- ・「経営のグローバリゼーションへのもう一つの選択肢 医薬品企業の事例から」(単著), 『経営と経済』第89巻 第3号, 2009年12月。

## &lt; 論評 &gt;

- ・「グローバリゼーションに罪はあるのか」(単著), 『大阪瓊林』第96号, 2009年6月。

## &lt; 学会発表 &gt;

- ・「経営のグローバリゼーションへのもう一つの選択肢 医薬品企業の事例から」(単独), 多国籍企業学会西部部会, 2009年8月29日, 九州大学。

## [ 学外活動 ]

## &lt; 学会などにおける委員としての活動 &gt;

- ・国際ビジネス研究学会, 幹事, 関西支部委員, 2012年10月まで。
- < 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 >
- ・長崎県市町合併審議会, 委員(会長職務代行者), 2010年3月まで。

## &lt; 公開講座・市民講座 &gt;

- ・『茶の間の経済学』, 「現代の企業経営」, 2009年10月17日, 長崎市北公民館。

古山 正明

## [ 学術・研究活動 ]

## &lt; 著書 &gt;

- ・『金融商品取引法 第2版』(川村正幸編, 共著), 中央経済社, 2009年9月。
- ・『テキストブック金融商品取引法』(川村正幸編, 共著), 中央経済社, 2009年7月。

## [ 学外活動 ]

## &lt; 国, 県, 市町村, 商工会議所, その他各機関での委員会および審議会の委員 &gt;

- ・長崎県弁護士会懲戒委員会, 予備委員, 2年。

丸山 真純

## [ 学術・研究活動 ]

## &lt; 著書 &gt;

- ・『よくわかる異文化コミュニケーション』(共), ミネルヴァ書房, 2010年2月。

## &lt; 科研費(採択のみ) &gt;

- ・「言語教育における文化規範の(再)生産と消費に関する研究: 日米の日本語教育を中心に」(単), 2007-2010(4年間)。

## [ 学外活動 ]

## &lt; 学術雑誌の編集員としての活動 &gt;

- ・『Kyushu Communication Studies』, 編集委員, 2年。

## &lt; 学会などにおける委員としての活動 &gt;

- ・日本コミュニケーション学会, 学術局, 年次大会プログラム担当, 2年。
- ・日本コミュニケーション学会九州支部, 運営委員, 2年。

丸山 幸宏

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ Range Adjusted Measure Network DEA Model, AIP Conference Proceedings, Vol. 1168, pp. 949-952, 2009.
- ・ Algorithms for Obtaining an Optimal Policy of Subclasses of Recursive Bitone Sequential Decision Process, In Shigeo Akashi, Wataru Takahashi and Tamaki Tanaka(Eds.), Proceedings of the Asian Conference on Nonlinear Analysis and Optimization, Yokohama Publishers, pp. 205-221, 2009.

<科研費(採択のみ)>

- ・ 「ネットワーク DEA による地域再生政策のモデル化と効果計測手法の研究」, 平成18年度～平成21年度
- <学術研究講演(大学, 学会, 研究機関等)>
- ・ 「RAM ネットワーク DEA モデルについて」, 研究集会, 非線形解析学と凸解析学の研究(京都大学数理解析研究所共同研究事業), 平成21年 8月31日, 京都大学理学部, 京都市。
- ・ 「Range Adjusted Measure Network DEA Model」, 7th International Conference of Numerical Analysis and Applied Mathematics, 平成21年 9月21日, Aquila Rithymna Beach Hotel, クレタ島, ギリシャ。
- ・ 「ネットワーク DEA について」, 第4回 DP 研究会, 平成22年 1月30日, 長崎県立大学経済学部, 佐世保市。

[学外活動]

<学術雑誌の編集員としての活動>

- ・ 『Interdisciplinary Journal of Information, Knowledge and Management』, Advisory Board.
- ・ 『International Journal of Business and Systems Research』, Editorial Board.
- ・ 『Mathematical Reviews』, Reviewer.

<学会などにおける委員としての活動>

- ・ 日本ロジスティクスシステム学会, 理事
- ・ 日本オペレーションズ・リサーチ学会九州支部運営委員
- ・ 日本オペレーションズ・リサーチ学会「数理計画(RAMP)研究部会」運営委員
- ・ 日本オペレーションズ・リサーチ学会2009年秋季研究発表会実行委員長, 2009年 9月10日まで

<公開講座・市民講座>

- ・ 『社会科学のフロンティア』, 「Network Data Envelopment Analysis(ネットワーク包絡分析法)」, 平成21年 6月7日, 長崎市立図書館多目的ホール。

村田 省三

[学術・研究活動]

<論文>

- ・ 「コミットメントとゲーム均衡」(単独), 『経営と経済』第89巻第2号, 平成21年 9月。
- ・ 「外部経済と動学ゲームの均衡」(単独), 『九州地区国立大学間リポジトリ』第3号, 平成21年11月掲載。
- ・ 「クールノー複占ゲームにおける後手有利性」(単独), 『経営と経済』第89巻第3号, 平成21年12月。
- ・ 「Amir 条件と等利潤線の形状」(単独), 『九州経済学会年報』第47集, 平成21年12月。
- ・ 「Amir 条件と紡錘条件」(単独), 『経営と経済』第89巻第3号, 平成21年12月。
- ・ 「ひとつのレンマ - 解の存在 - 」(橋口真理子(九州大学大学院博士後期課程)との共同), 『経営と経済』第89巻第4号, 平成22年 3月。

<学会発表>

- ・ 「Hamilton & Slutsky(1990)定理7の構造」(橋口真理子(九州大学大学院博士後期課程)との共同), 九州経済学会, 2009年12月5日, 九州国際大学。

## [学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・日本応用経済学会，理事，2008年4月から2010年3月まで。

桃井 謙祐

## [学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・地域産業の新たな支援のあり方に関する研究会ワーキンググループ，委員，平成21年8月～平成22年2月
- ・長崎県経営品質賞委員会，委員，平成22年1月～3月

森保 洋

## [学術・研究活動]

<著書>

- ・『日本株式市場の投資行動分析 行動ファイナンスからのアプローチ』(城下賢吾氏との共著)，中央経済社，2009年8月

<論文>

- ・「代替的新興市場創設による経済効果分析」(川村雄介氏，須齋正幸氏，阿萬弘行氏，工藤健氏との共著)，『証券経済学会年報』，第44号，2009年7月
- ・Hiroshi Moriyasu, "The Intraday Price Discovery Process Between the Singapore Exchange and Osaka Stock Exchange," Proceedings of the 21st Asian-pacific Conference on International Accounting Issues, November, 2009

<科研費>

- ・「超高頻度データを利用した企業のリスク構造推定モデルの開発と企業金融への応用」(共同)，2009年度～2011年度

<学会発表>

- ・Hiroshi Moriyasu, "The Intraday Price Discovery Process Between the Singapore Exchange and Osaka Stock Exchange," The 21st Asian-pacific Conference on International Accounting Issues, November 23, 2009, Las Vegas, U.S.A.

## [学外活動]

<学会などにおける委員としての活動>

- ・証券経済学会，幹事，2009年4月～2011年3月

山口 純哉

## [学術・研究活動]

<著書>

- ・『長崎学への道案内：長崎県地域限定通訳案内士試験テキスト(改訂新版)』(共)，長崎文献社，2009年10月。

<学術研究交流(学部が受け入れを認めた民間との共同研究を含む)>

- ・「新産業事業分野創出に向けての共同研究(知的財産本部受入)」，1回/月の研究会，長崎市職員，2009年8月～2010年3月。

## [学外活動]

<国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎市市民協働推進委員会，委員長，2008年4月～2010年3月。
- ・島原市行政評価委員会，委員長，2009年10月～2010年3月。

< 報告書（国，県，市町村，企業等からの依頼による）>

・『市民活動団体の自立支援施策の立案にかかる調査研究』（共），長崎市，2010年4月。

< 講演会（社会的要請に基づく）>

・「地域連携について」，中小企業診断協会長崎県支部，『平成21年度中小企業診断士理論政策更新研修』，2009年10月17日，長崎市立図書館多目的ホール。

・「コミュニティビジネスによる法人運営の勘所」，宮崎県 NPO 活動支援センター，『平成21年度 NPO マネジメント講座・協働講座』，2009年12月5日。

< 公開講座・市民講座 >

・『長崎市立北公民館秋の講座茶の間の経済学』，「ここ10年の長崎経済の歩みと課題」，2009年10月26日，長崎市立北公民館。

・『長崎市立北公民館春の講座茶の間の経済学』，「国内各地のクラスターと地域経済の活性化」，2009年5月16日，長崎市立北公民館。

吉岡 真史

[学術・研究活動]

< 論文 >

・「今次景気循環のピークの推計 - マルコフ・スイッチング・モデルによるアプローチ - 」『経営と経済』第89巻第1号，平成21年6月

・「九州7県における人的資本の推計 - 大学志願率と非正規比率は人的資本に影響するか? 」『経営と経済』第89巻第2号，平成21年9月

・「我が国における労働調整過程の変容：VARプロセスの応用」『経営と経済』第89巻第3号，平成21年12月

・「G5諸国における株価収益率ボラティリティの推計：GARCHモデルの応用」『経営と経済』第89巻第4号，平成22年3月

・“ Estimation of Environmental Kuznets Curve for Various Indicators: Evidence from Cross-Section Data Analysis ,” 『東南アジア研究年報』第51集，平成22年3月

< 研究ノート >

・「今次景気後退局面の特徴 - 猛烈なスピードによる調整後の景気展望とともに - 」『経営と経済』第89巻第2号，平成21年9月

・“ An Essay on Random Walk Process: Features and Testing ,” 『経営と経済』第89巻第3号，平成21年12月

・「相対的貧困率に関する考察：第14循環における動向」『経営と経済』第89巻第4号，平成22年3月

・“ An Essay on Remittances Effects to Economic Development: A Survey ,” 『東南アジア研究年報』第51集，平成22年3月

< ワーキング・ペーパー >

・「確率的景気指標による長崎地域経済の研究：長崎経済の定型化された事実の検証」DISCUSSION PAPER SERIES, No.2009-13, 長崎大学経済学部，平成21年11月

・“ Uncertainty of the Keynesian Multiplier: Monte Carlo Simulation Evidence from Malaysia ,” DISCUSSION PAPER SERIES, No.2009-14, 長崎大学経済学部，平成21年11月

・“ Uncertainty of the Keynesian Multiplier in Chile: Empirical Evidence from Stochastic Simulation ,” DISCUSSION PAPER SERIES, No.2009-15, 長崎大学経済学部，平成21年12月

[学外活動]

< 学術雑誌の編集員としての活動 >

・ *Journal of Developing Areas* レフェリー，2009年

< 国，県，市町村，商工会議所，その他各機関での委員会および審議会の委員 >

・国際協力機構 (JICA) 特別研究員，2009年度

吉田 省三

[学術・研究活動]

<判例研究>

- ・「私的独占の支配行為に対する排除措置命令とそれを取り消す変更審決・キックマン審決変更事件」(単),『ジュリスト・経済法判例・審決百選』2010年4月。
- ・「カルテル行為を行った団体に対する解散命令・酢酸エチル協会事件」(単),『ジュリスト・経済法判例・審決百選』2010年4月。

<学会発表>

- ・「公共調達におけるPFI・総合評価方式と『公正な競争』」(単),民主主義科学者協会法律部会商法経済法分科会,2009年3月26日,霧島市・霧島観光ホテル。
- ・「司法官組織の日伊比較 - 青年法律家協会と全国司法官協会(ANM)」(単),民主主義科学者協会法律部会商法経済法分科会,2009年8月27日,温泉津温泉・旅館後楽。
- ・「『多国籍企業段階』『貨幣資本循環視点』と現代の経済法現象 - 二宮厚美『新自由主義の破局と決着』(2009)から着想して」(単),民主主義科学者協会法律部会商法経済法分科会,2010年3月25日,大津市・琵琶湖グランドホテル。

[学外活動]

<国,県,市町村,商工会議所,その他各機関での委員会および審議会の委員>

- ・長崎県弁護士会懲戒委員会,委員,2008年3月1日 - 2010年2月28日。
- ・雲仙市入札監視委員会,委員,2009年5月28日 - 2011年5月27日。
- ・長崎市入札監視委員会,委員,2008年4月1日 - 2010年3月31日。
- ・対馬市入札監視委員会,委員,2009年8月1日 - 2011年7月31日。

<講演会(社会的要請に基づく)>

- ・「長崎市民病院と日赤長崎原爆病院の廃止・統合案を考える」,くらしと地域を考える長崎市民の会『シンポジウム・いま公立病院に求められるもの』,2009年2月11日,長崎市・メルカつまちホール。
- ・「市民の総意で,安全・安心の医療を。市直営で充実した新市立病院を」,くらしと地域を考える長崎市民の会『市民のための市立病院を考えるシンポジウム』,2009年11月14日,長崎市・市立図書館メモリアルホール。

吉田 高文

[学術・研究活動]

<科研費(採択のみ)>

- ・「中小企業の事業承継に伴う財産評価と企業価値」(単),平成21年度および平成22年度。